



森本 猛
Takeshi Morimoto

「風待」は季節を運んでくる風、それを待つ間の言葉で表しきれない不思議な感覚を、穏やかながら深みのある美しいグレーと繊細なマチエールで表現しています。風土や自然に対する愛情ある眼差し、包み込まれるような温かな郷愁のある作品は、誰の目にもどこか懐かしく切ない気持ちを起こさせます。教員生活を終え、より自由に独自の姿容を遂げている作家のこれからにご注目ください。

1956年 愛媛県宇和島市に生まれる
1980年 武蔵野美術大学造形学部油絵科 卒業
松山にて 美術教諭 就任
個展(愛媛・ヒロヤ画廊)
1991年 熊本にて 美術教諭 就任
1992年 四万十絵画展(高知) 入賞
1993年 個展(熊本・ミック)
アート大賞展(熊本) 入賞
1994年 個展(東京・ギャラリー銀座汲美)
1995年 個展(熊本・上通りギャラリー)
1996年 個展(熊本・三点鐘)
北の大地展(北海道) 入賞
1998年 個展(愛媛・名画堂)
2002年 個展(東京・ギャラリー銀座汲美)
2005年 個展(熊本・ギャラリーート)
2006年 個展(東京・ギャラリー銀座汲美)
2007年 個展(愛媛・ギャラリーリブ・アート)
2011年 個展(東京・ギャラリーKANI)
個展(愛媛・ギャラリーリブアート)
2012~14年 熊本県立美術館学芸課主幹
2014年 個展(東京・ギャラリーゴトウ)
2015年 個展(東京・ギャラリーゴトウ)
2016年 美術教諭 退任
個展(東京・ギャラリーKANI)
2017年 個展(愛媛・ギャラリーリブアート)
2018年 個展(東京・ギャラリーゴトウ)
個展(熊本・なかお画廊)
他、入選・グループ展多数



《風に揺られて》2017年



《風待》2014年



《どこ吹く風》2018年

Up And Coming展I

輝け！ えひめの挑戦者たち

関連イベント：2018年11月11日(日)13:30~14:30

出展作家による ギャラリートーク

(オーガフミヒロ、坂本龍彦、森本猛)
事前申込不要。
入場料のみでご参加いただけます。

次回展覧会：愛媛大学美術科卒業制作展
2019年2月10日(日)~2月19日(火)



アクセス

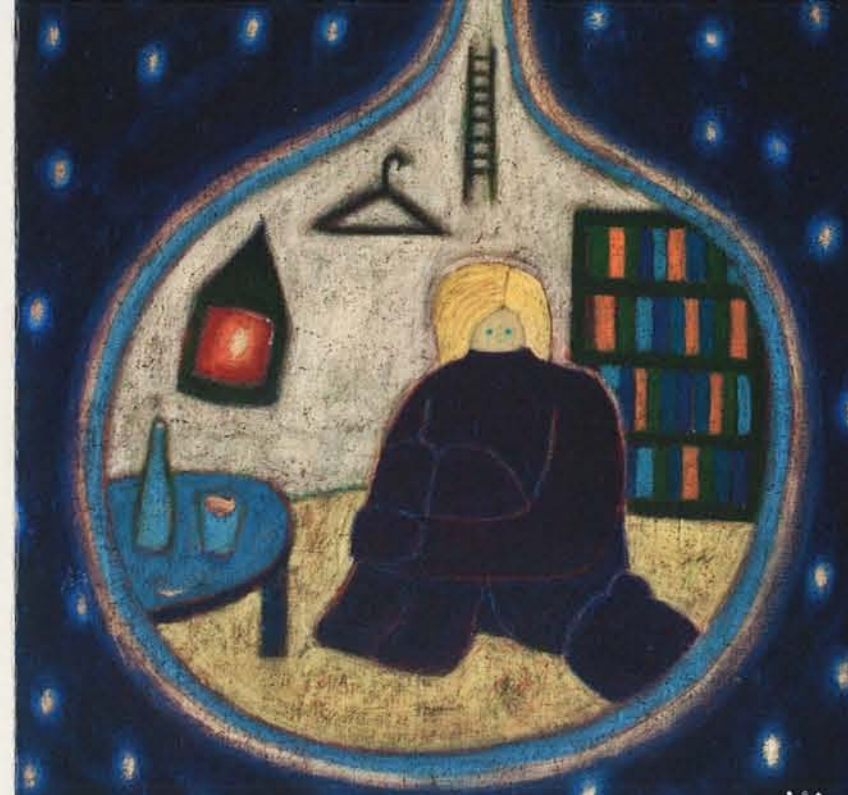
◆JR松山駅から市内電車にて松山市駅へ、伊予鉄バス北条行き(内宮バス停)又は「花見橋」バス停下車 徒歩約15分
◆松山空港から車で約30分 ◆松山I.C.から車で約30分 ◆今治I.C.から車で約50分

MIURART

ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館)

〒799-2651 愛媛県松山市堀江町1165-1
TEL089-978-6838 FAX089-978-0323
<http://www.miuraz.co.jp/miurart>
E-mail:miurart@miuraz.co.jp

駐車場:30台と土・日・祝日は臨時駐車場(三浦工業
福角駐車場約250台)をご利用いただけます。



オーガフミヒロ Fumihiro Oga

坂本龍彦 Tatsuhiko Sakamoto

森本 猛 Takeshi Morimoto

輝け！ えひめの挑戦者たち

Up And Coming展I

Up And Coming 展は、
ARTに果敢に挑む作家たちの未来の飛躍と、
郷土の芸術の発展を目指し、
愛媛ゆかりの作家をご紹介します。

2018年11月11日(日) - 2019年1月27日(日)

休館日：月・火曜日(祝日は開館)

※年末年始の休館日は、2018年12月28日(金)~2019年1月3日(木)

開館時間：午前9:30~午後5:00(入館は午後4:45まで)

入場料：一般600円(前売り400円)、高大生300円、中学生以下無料

主催：ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館)

協賛：株式会社ミウラ

協力：ギャラリーかわにし、ギャラリーリブ・アート

後援：愛媛県教育委員会、松山市教育委員会、愛媛新聞社、
南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、
愛媛CATV、FM愛媛

作品 / 上：オーガフミヒロ《ふゆごもり》(部分) 2018年

中：坂本龍彦《技法材料抽象構成2018年7月》(部分) 2018年

下：森本猛《風待》(部分) 2014年

MIURART VILLAGE
MIURART

Up And Coming展I

輝け！ えひめの挑戦者たち

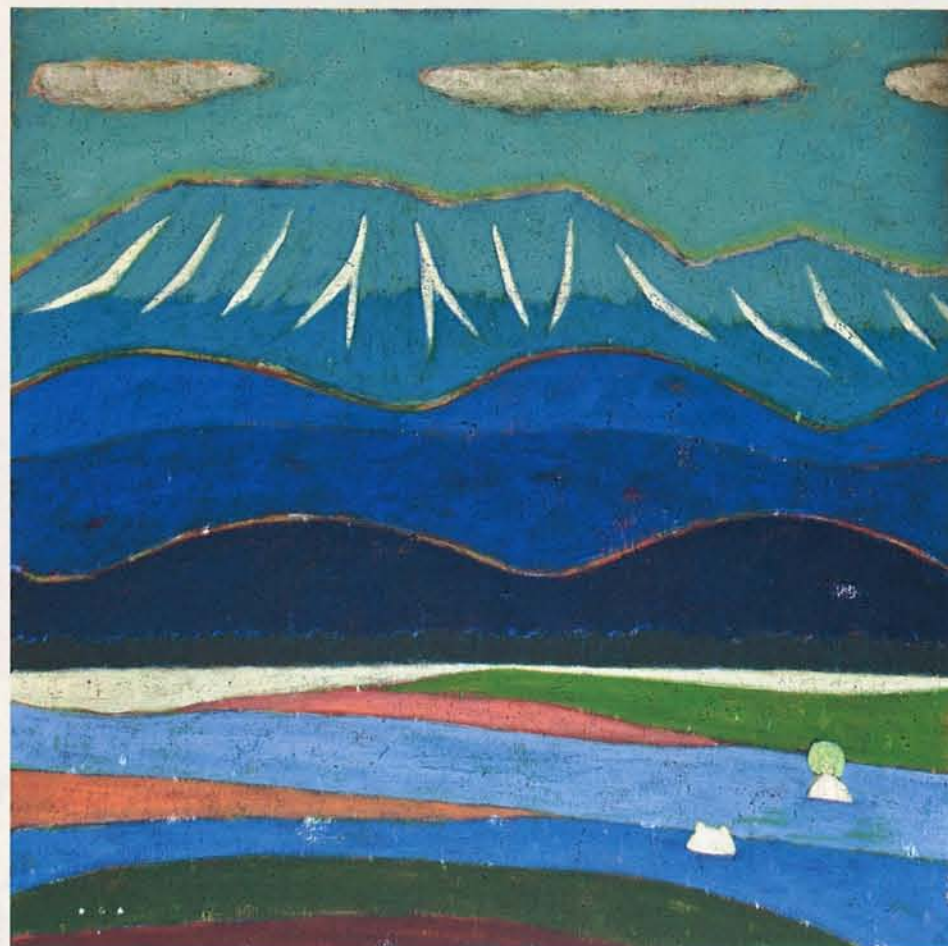


オーガフミヒロ

(大鋸史浩)
Fumihiro Oga

絵本作家を目指し、やがて1枚の絵画で表現する道を選んだオーガフミヒロ。想いを重ねるように20層以上塗り重ねられた色彩が温かみと確かな存在感を生んでいます。詩的でどこか孤独な哀愁の漂う、優しい世界をお楽しみください。「水の境」は石鎚山を作家の世界観に落とし込み、幻想的な美しい空間になっています。1点1点を目の前にしたとき、物語が生まれる作品です。

1971年 愛媛県松山市に生まれる
1991年 大阪総合デザイン専門学校 絵本科 修了
1993年 大阪南港トンネル沈埋壁画制作
1995年 初個展(愛媛・ギャラリーリブ・アート)
1999年 日本の自然を描く展(東京・上野の森美術館) 彫刻の森美術館賞
1999年 個展(愛媛・東松記念館エスパス21)
1999年~ 個展(愛媛・ギャラリーかわにし)
2001年 若き画家たちからのメッセージ展(神奈川・すどう美術館) 大賞
2002年 「GEISAI-2」(イラストレーション誌) スカウト賞
2003年 現代民話考(松谷みよ子著・筑摩文庫)全12巻装丁
2004年 私の愛する一点展(長野・梅野記念絵画館)
2005年 ドイツフライブルグ5人の芸術家展(愛媛県美術館)
2006年 Zwischen dem Himmer und Mir(フライブルク市)
2009年~11・15年 個展(京都・蔵丘画廊)
2009年 漱石の病と『夢十夜』(三好典彦著・創風社出版)装丁
2009年より隔年 個展(東京・ギャラリーアビアント)
2011年 個展(中国/台北・Star Crystal Gallery)
2013年 個展(東京・渋谷東急本店)
2013年より隔年 個展(東京・いつき美術館)
2014年 個展(北海道・札幌大丸本店)
2015年より隔年 個展(東京・成城さくらさくギャラリー)
2015年 作品収蔵(愛媛・西条中央病院)
2016年 個展(東京・ギャラリー枝香庵)
詩画集『夜鳥の手帳』(ギャラリー枝香庵出版企画部)出版
アスカロン、起源の海へ(大谷純著・作品社)装丁
個展(東京・Bunkamura Box Gallery)
2017年 個展(愛媛・いよてつ高島屋)
作品収蔵(鳥取・日南町美術館)
個展(兵庫・川田画廊)
2018年 個展(大阪・ホテルニューオオタニ大阪)
他、個展、グループ展、アートフェア多数



《水の境》2018年



《渚の声》2018年



《北の夜空》2018年



坂本龍彦

Tatsuhiko Sakamoto

ダイナミックで重厚な、一見抽象的な表現の中に確かに具象が存在します。世界の本質を自身の目でしっかりと見据え、探求しているからこそ行き着いた具象表現です。「とうがらし」にはよく目を凝らすと本物のとうがらしの種があります。氏の作品には度々植物そのものの造形を見つめることができ、みる者を驚かせます。目が覚めるように美しく、奥深い世界をご体感ください。

1953年 愛媛県西宇和郡三崎町に生まれる
その後小学校は八幡浜、中・高は松山に転入
1973~77年 多摩美術大学で油彩画を学ぶ
1977~79年 同大学院で現代美術を学ぶ
1983~2014年 埼玉県立高等学校美術科教諭として31年間勤務
1999年 パリ国際サロン 大賞
2001年 ブリスベン国際美術展 大賞
2003年 イタリア美術賞展 大賞
2013年 スペイン美術賞展招待出展 準大賞
2014年 退職後、松山に戻ってアトリエを構える。
JIAS 日本国際美術家協会会員、仏テレーヌ財団美術家協会会員
他、個展多数



《Tombo》2006年



《とうがらし》2010年

作家画像(上):
《自画像》1978年



《Petal》2016年